

JSCへの企業参画

Japan Smart Chain (JSC) の企業パートナーシップの機会およびバリデータとしての参画に関する概要を説明します。

JSC上のアプリケーション

Japan Smart Chainは、特に決済、ゲーム、ロイヤリティシステム、アイデンティティ管理、実世界資産 (RWA) といったユースケースに関連するブロックチェーンアプリケーションの開発を歓迎します。2025年には、JSCテストネット上でのデプロイを目指す開発者、スタートアップ、およびその他の企業を募集します。JSC上での開発にご興味のある方は、公式ウェブサイトで最新情報を購読するか、アプリケーションのアイデアや製品の簡単な説明を以下のメールアドレスまでお送りください。

developers@japansmartchain.com

MIZUHIKIアテスター

MIZUHIKI(ミズヒキ)アテスターは、Japan Smart Chainエコシステムにおいて重要な役割を担い、日本国内の顧客がJSCアプリケーションを安全かつ確実に利用できる環境を提供します。アテスターは、ID、ライセンス、その他の国家公認資格の認証サービスを提供し、大学やその他の信頼できる日本の機関も含まれる予定です。2025年には、Japan Smart Chainウェブサイトでの登録受付を開始します。

JSC Vision Partner

JSCビジョンパートナー (VP) プログラムは、選ばれた企業グループがJapan Smart Chainのビジョンや仕様を策定し、日本の企業および規制エコシステムに適合させる機会を提供します。このプログラムでは、企業に対して早期のオンボーディングと技術指導を提供し、バリデータ、トークン保有者、またはプロジェクト運営者として、JSCエコシステムのリーダー的存在となることを目指します。

デリゲートバリデータ

デリゲートバリデータは、日本国内の中規模から大規模な企業で、技術的またはステーキングの責任を他の登録企業と共有します。デリゲートバリデータは、最初はAltX Researchを含む第三者から技術支援を必要とする場合があります。

フルノードバリデータ

フルノードバリデータは、Japan Smart Chain上で利用可能な21のノードのうち1つを運用します。フルノードバリデータの運用には高い技術要件とセキュリティ基準が求められるため、ローンチ時点では日本の日経100企業を対象に限定される予定です。